

地方創生交付金事業の効果検証について

令和4年度

地方創生支援策区分	地方創生推進交付金						
地域再生計画の名称	次代を見据えた産業構造の転換・強化促進事業						
地域再生計画の内容	この先も往々にして起こりうる、様々なリスクや環境の変化にも対応が可能となるよう、新たな産業の構築を企図する。については、これまで築き上げてきた輸送機器を基盤としたものづくり産業を中心として、様々な分野における、高度で独自の技術を更に深化させ、疲弊した県経済全体を立て直すための対策に取り組むとともに、①既存産業の強みを生かしながら、②時代の変化に合わせ新たな成長機会を採求することで、①、②を両輪とした両利き（ハイブリッド）の産業構造を目指す。						
事業名	吉岡町小規模事業者販路開拓等支援事業	事業区分 (連携/単独)	広域連携事業				
事業概要	町内の小規模事業者の販路開拓を補助金の交付により支援し、その取引拡大を通じて地域経済の活性化を図るものです。なお、交付は1事業者につき1回とし、より多くの町内事業者が販路開拓に取り組み、新たな顧客の獲得と事業の発展に繋げることを目指すものです。						
事業経費	事業費総額：3,000,000円						
	(事業費内訳) ソフト事業 小規模事業者販路開拓等支援補助金 3,000,000円					ハード事業 0円	
令和4年度 取組内容				取組結果			
商工会との情報交換のほか、分かりやすいホームページへの更新や町広報への掲載回数の増加から事業周知の強化を図り、10件の申請につなげた。また、申請者に対しては、販路開拓に資する取組効果がより向上するよう商工会と連携した助言等を実施した。 次年度に向けて商工会会報への実績掲載のほか、補助事業に係る取組の具体化と例示の検討を行った。				10件の交付決定がなされたが、補助事業の廃止が1件あり、最終的に9件の確定となった。内訳は、以下のとおり。 ①広報事業 件数：9件 執行額：225万円 ⇒取組事例：看板、ホームページ、包装資材等 ②展示会等出展事業 件数：0件 執行額：-			
KPI (重要業績評価指標)	事業開始前	令和4年度 目標値 (1年目)	令和4年度 実績値 (1年目)	令和5年度 目標値 (2年目)	令和5年度 実績値 (2年目)	令和6年度 目標値 (3年目)	令和6年度 実績値 (3年目)
交付決定事業者数 (件)	0	10	9	10		10	
KPI未達成 の理由	展示会等出展事業1件を交付決定していたが、事業実施に伴う補助対象経費が下限(10万円)の要件に満たさず、事業廃止承認申請書が提出されたため。 ※展示会：11月18日～20日開催、事業廃止申請書：12月12日提出 本事業の募集期限は11月30日としており、交付決定後の事業実施と実績報告の提出期限の2月末までを勘案すると、募集期限の延長は出来ないと判断した。なお、募集期間内において予算に達するまでの交付決定には至っておらず、予算を理由に申請を断念した事業者はなかった。						
事業の課題 /今後の取組	本補助金は、上限限度額を30万円と設定しているが、これまでの補助事業の内容と補助対象経費の実績からは、当該設定は妥当だと考える。また補助率が1/2と自己負担があることは資金調達及び実施後の受領が可能な事業者に限られるが、補助対象経費の下限である10万円以上の設定を含め、補助制度における事業者負担からは問題ないと考える。このことから予算的な見直しを行うことは予定に無いが、広報事業と展示会等出展事業を柱とする制度設計の見直しを経ないかたちで補助内容を検討し実施につなげる。具体的には、補助事業の適正実施を前提に販路開拓に資する取組を具体化し複数例示するほか、本補助金の趣旨目的である取組には柔軟に対応する。						
町評価	地方創生に有効であった。 小規模事業者の販路開拓の補助により、その取引拡大を通じて地域経済の活性化が図られた。 国からは戦略的販路開拓支援事業として事業費の1/2(1,125,000円)の交付を受けることができた。						
外部有識者による 意見・記述欄	地域再生計画の主旨を考慮したうえで、交付金の使い道・使い方といったものについて検討されたい。						